

分科会開催報告書

報告日 平成30年12月27日	報告者 小幡友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第125回浮雲俳句会
開催日時 平成30年12月23日(日) 午前9時30分～午前11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室—A—
参加人数 “わ”の会会員 男11名 女6名	合計 17名 欠席者0名

実施内容

第125回例会は、兼題①星座②天文(仲冬)他に当季雑詠2句。計4句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、大谷二祥会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作8句の発表と夫々の句についての論評があった。

天賞句	『理科年表』星座の頁繰る霜夜	一 馬
地賞句	満天の星座を統べる冬北斗	十 九
人賞句	嗚呼平成行く名残りあり除夜の鐘	二 祥
特選句	見上ぐれば刻を忘れし冬星座	重 九
	「大吉」と星座占い年の暮	春 駒
	名画座を出てビル街冬銀河	三 洋
	初氷下に眠れる鯉親子	三 旦
	ラグビーの縦横斜に回し蹴り	勇 平

会員高点句

8点句	雪起し一閃の駅過ぎにけり	二 祥
8点句	冬霧が纏はり捲る富士の裾	一 幸
7点句	炉話の星座神話や時明り	國 眼

次回の予定

平成31年1月27日(日)午前9時30分～午前11時30分
能見台地区センター多目的室—B—126回例会は、兼題①寒昴②人事(晩冬)他に当季雑詠2句。
披講太田重九会員。